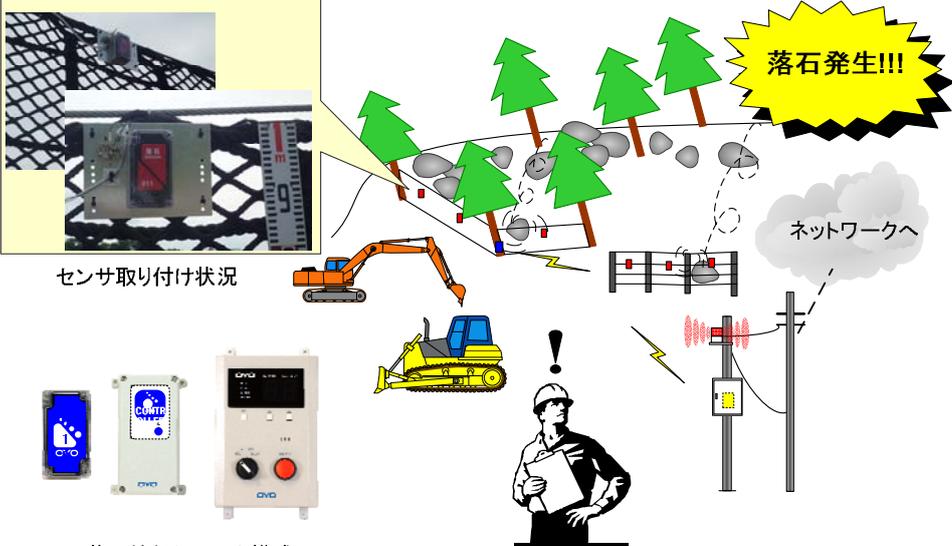


技術名称(商品名)	落石検知システム
会社名	応用地質株式会社
技術・システムイメージ (商品写真など)	 <p>落石発生!!!</p> <p>ネットワークへ</p> <p>センサ取り付け状況</p> <p>落石検知システム構成 (右からメインユニット、コントローラ、センサ)</p>
技術の概要説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの基本ユニット(センサ、センサーコントローラ、メインユニット)により構成される落石検知システムです。 ・ 落石防護施設などに設置したセンサ(加速度センサ)が落石時の施設への衝撃を検知し、無線通信(特定小電力無線)によってセンサ~コントローラ~メインユニットへ検知情報を送信します。 ・ 検知時にメインユニットのブザーが鳴るとともに、メインユニットのネットワーク機能で検知情報をEメール送信できます。 ・ 独自のフィルタリング処理により落石などの「衝撃的な揺れ」のみに反応します。風などの落石とは異なる揺れには反応しません。
技術の特徴(PRする点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落石などの衝撃的な揺れのみに反応します。4段階の衝撃感知レベルが設定可能です。 ・ 省電力機能により、センサの電池寿命(単三電池3本)は約1年間と長寿命です。 ・ 各ユニット間の通信は無線方式のために、設置に当たり面倒な配線作業が不要です。 ・ 電話回線などの通信インフラを利用し、ネットワーク機能により遠隔地での監視が可能です。 ・ センサの検知時に加え、通常時においても各センサ、ユニットが正常に動作しているかを常に監視しています。各センサ、ユニットのバッテリー低下や紛失なども検知情報と同じく通知可能です。 ・ メインユニット1台につきコントローラを4台、コントローラ1台につきセンサを10台制御可能です。最大でメインユニット1台でセンサを40台接続可能です。 ・ メインユニットとコントローラの間にはリピーター(別売)を増設することで、通信距離を延長可能です。リピーターは、メインユニット1台につき15台まで増設可能です(最大延長距離で1.5km程度)。 ・ ドライ接点出力機能により外部の警報機が制御可能です。
用途	土砂災害監視(斜面崩壊、地すべり、落石、土石流)、工事の安全管理
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入コスト: 約100万円/式(落石防護施設(ネット系)延長20~30m当たり、設置・電源・電話線工事含まず) ・ ランニングコスト: 1式当たり月数千円(電池代+商用電源)~月1万円程度(追加でNTTネットワーク回線を利用した場合)
担当窓口連絡先	応用地質株式会社 機器事業本部 営業部、技術部 電話: 029-851-5078 E-Mail: oyois-sales@i-sensor.com
その他	